

DX交流サロン

DX交流サロンは、デジタルトランスフォーメーション(DX)に関心のある企業、自治体の職員、教育機関の教職員に参加していただき、DXについて情報交換や自由に議論していただく場です。

今回は「DXとものづくり」をテーマとし、ものづくりにデータの有効活用や統計的な手法を取り入れられている株式会社デンソーの吉野睦氏にご講演をいただきます。デンソーでの先進事例も含めて、データサイエンス、デジタルトランスフォーメーションについて、ご経験を交えたお話をさせていただきます。ご関心のある皆様はぜひご参加ください。

日時：2020年3月7日(土) 15:30~17:00 (15:00 受付開始)

場所：TKP神戸三宮カンファレンスセンター5階 ホール5 A

[神戸市中央御幸通6区丁目1-12 東館5階 三宮ビル]

対象：DXに関心のある企業・自治体の職員・大学関係者

定員：120名

参加費：無料

申込方法：以下のURL内のお申込みフォームより、お申込みください

https://www.kokuchpro.com/event/200307_DX_salon/



プログラム	15:30~15:35	開会挨拶
	15:35~16:35	講演 吉野 睦氏 (株式会社デンソー 品質管理部TQM推進室SQC推進担当次長、技師)
	16:35~16:50	質疑応答

講演

ビッグデータで変わる生産工程 『異常検知の最前線』

吉野 睦 (株式会社デンソー 品質管理部TQM推進室SQC推進担当次長、技師)



[講演概要]

現在、ビッグデータ活用はものづくりの現場でも進められている。工場IoTと呼ばれている分野である。しかし、測定チャンネル数が多いために予期せぬ線形制約が入り、古典的なSQCでは解析が困難となる。このような問題を紹介するとともに、現在取り組んでいる異常検知や状態監視技術について実事例を紹介し、今後の課題を提示したい。

[講演者略歴]

1982年日本電装(現デンソー)入社。デンソー品質管理部TQM推進室SQC推進担当次長、技師。生産技術部F-IoT室、人事部HR-TEC室、コアスキル開発部兼務。博士(工学)。日本品質管理学会品質技術賞受賞(計3回)、2013年品質管理推進功労賞受賞。日科技連データサイエンス入門コース 実験計画法エキスパートコース講師、名古屋工業大学大学院非常勤講師、三重大学工学部非常勤講師を務める。著書に「JSQC選書10 シミュレーションとSQC」(日本規格協会)、「開発・設計における「Qの確保」」(日本規格協会)、「JUSE-StatWorksオフィシャルテキスト第4巻」(日科技連出版社)など。趣味はクラシック鑑賞およびレア盤収集。

お問い合わせ先：一般社団法人 デジタルトランスフォーメーション研究機構 (RIDX)

TEL：080-7724-2365 Email：office@ridx.jp

主催：一般社団法人 デジタルトランスフォーメーション研究機構(RIDX)

共催：神戸大学 数理・データサイエンスセンター

*本イベントはKOBE×DXプロジェクト2019の一環として神戸市より補助金を受けて開催しております。

